

# 医療安全管理者の役割

## まず業務の可視化から始めよう

業務日誌をつけると  
振り返りができる  
(他部門に依頼すべきこと、  
協働した方が効果的なこと)

毎日・定期・随時業務を  
書き出してみよう

会議、研修等の予定を  
カレンダーに記載しておく  
準備しやすい

毎日

- インシデントレポートの内容確認、承認
- アクシデントレポートの検証、防止策策定
- 死亡事例スクリーニング、カルテ確認
- ラウンド
- 業務日誌記録

定期

- 各種委員会、カンファレンス
- 安全対策地域連携
- データ入力、資料作成

随時

- 医療安全相談、苦情・クレーム対応
- マニュアル、指針改訂
- 事例検討会
- 事故調査委員会
- 研修開催

|   | 1週目  | 2週目         | 3週目   | 4週目                               |
|---|--|-------------|---|-----------------------------------|
| 月 | ご意見検討会議<br>(患者アンケート対応会議)   |             |   |                                   |
| 火 | 看護部研長会<br>転倒転落事故防止対策チームラウンド(多職種)   |             | 看護部研長会  | 看護部RM会議<br>転倒転落事故防止対策チームラウンド(多職種) |
| 水 | 医療安全カンファレンス<br>院内感染防止対策委員会   | 医療安全カンファレンス | 医療安全カンファレンス<br>部室代表者会議<br>加療管理会議<br>電子カルテ委員会<br>医薬委員会   | 医療安全カンファレンス                       |
| 木 | 医療安全対策委員会  | 医療安全管理委員会   |   | 府南支店施設代表者会議                       |
| 金 | 患者相談窓口運営委員会<br>加療材料購入検討会議  | 患者相談窓口運営委員会 | 患者相談窓口運営委員会   | 患者相談窓口運営委員会                       |
|   | 【毎日】<br>院内ラウンド(医療安全管理室)<br>インシデント・アクシデントレポート確認・承認<br>問題解決支援および対応 アンケート検証・対応<br>医療安全に関する各職種・各委員会等からの相談・対応(虐待・身寄りのない今後の医療事項に関する方針決定など含む)必要時カンファレンス・会議への参加<br>医療事故情報収集・周知<br>医薬品・医療機器情報収集・周知<br>緊急診療受診者確認(カルテなど)<br>画像所見閲覧状況確認(緊急診療受診者)<br>必要時コンサルテーション調整および対応<br>医療事故担当性チェック<br>【死亡事例スクリーニング・カルテ確認 数長報告】<br>クレーム相談(電話・面談および患者相談室と情報共有)<br>業務日誌作成 |             | 【定期・随時】<br>医療安全相談件数報告(毎月)<br>インシデント・アクシデントレポート集計・分析(毎月)<br>インシデント・アクシデントQC化確認(毎月)<br>転倒転落報告集計・分析(毎月)<br>QIデータ集計報告(毎月)<br>画像閲覧状況確認集計未閲覧報告(各診療部長へ)毎月<br>肝臓腫瘍性結果(消化器内科部長確認後各診療部長へ)<br>インシデント・アクシデント発生状況確認(毎月院連RMへ)<br>医療安全ラウンド(RM・委員)毎月テーマ<br>医療安全カレンダー作成配布・医療安全情報配布(毎月)<br>MRMニュース作成配布<br>日本医療機能評価機構ヒヤットハット事例数集計報告<br>M&Mカンファレンス 随時<br>医療事故対策チーム会議(レベル3他他対策事例時)<br>年間業務計画作成実績評価報告・TQM目標実績評価報告<br>各会議・カンファレンス資料(プレゼン用)作成 |                                   |
|   | 医療安全地域連携加算訪問<br>府内医療安全ネットワーク会議<br>南大阪医療安全ネットワーク活動(幹事会議・研修開催)<br>救急カート管理・離床センサー管理   |             | 【随時開催委員会】<br>医ガス安全管理委員会<br>個人情報管理委員会<br>倫理委員会   |                                   |

## お一人さま打開策

医療安全管理者は、  
感度の良い  
情報センサーを  
どれだけ  
備えているかが勝負!

- 第一歩として、現場や他部門、他職種に声をかけてみる。
- 医療安全担当委員を活用する。
- SAFTY ファイブで力を合わせ、役割を分担  
安全、感染、医薬品、医療機器、放射線  
〔用はなくても、事務や栄養、検査、リハビリ、  
診療情報管理などにもお邪魔する〕
- よろず相談所のように相談ごとが舞い込むようになれば、  
情報も入ってくる。

お困りごとは  
ないですか?

## 顔の見える関係づくり

毎日のラウンドにより、  
名前と顔を覚えてもらう

- 安全管理室のドアは開放し、  
入りやすくオープンな雰囲気にする。
- 医師に積極的に話しかけ、相談する。
- クレームや暴言・暴力、医療問題発生時など、  
病院組織で対応すると、頼りにしてくれる。

✗ インシデントや医療事故の時だけ  
駆け付けると、「怖い人が来た」と思われる

## ラウンドの工夫

様々なチームの  
ラウンドに同行する

- RRSや認知症ケア、身体抑制チームに  
同行すると、リスクの高い患者を把握できる。
- テーマを決めて改善したいルールや部署を  
徹底的にラウンドする。
- チェックリストを活用すると、後で変化が分かる。

✗ 時間帯や曜日によっては、  
相手をしてもらえないことがある